



Good Change for the World

グッドネーバーズ・ジャパン

年次報告書

2016

2016.1-2016.12

# ごあいさつ

日頃より私どもグッドネーバーズ・ジャパンにご支援・ご協力くださっている皆様にあらためて感謝を申し上げます。2016年に25周年を迎えた国際NGO グッドネーバーズ・インターナショナルは昨年、全世界で113万7,449人の子ども達、教師、そして地域住民を対象に教育の機会を提供したり、教育の質を高めたりする様々なプログラムを実施しました。

その日本法人であるグッドネーバーズ・ジャパンは、アジア・アフリカにおける子どもの教育支援を中心とした地域開発や、災害時の緊急支援などを実施しています。昨年4月の熊本地震においては、発災の一週間後より、駐在スタッフ2名が南阿蘇村災害ボランティアセンターにおいてコーディネーション業務を開始しました。活動は10月まで続き、避難所や被災者から受けた約1,500件のニーズに対応するなど、ボランティアと被災者を繋ぎ日常生活を取り戻すための支援を行いました。また、エクアドルの地震やハイチのハリケーンなど、日頃より地域開発を行うアジア・アフリカの国以外へも緊急支援に赴き、食糧や被災家屋への補修物資配布など、被災地域それぞれで必要とされるニーズに応えました。

さて、グッドネーバーズ・ジャパンはこれまで海外の貧困や教育の問題に取り組んで参りましたが、2017年より新たに国内の子どもの貧困対策に取り組む予定です。平成27年度のひとり親世帯の子どもの貧困率は50.8%（厚生労働省）で、半数を超えております。私達はまずこの「ひとり親世帯」へ焦点をあて、子ども達がその生まれ育った環境に左右されず健康に成長できるように支援してまいります。

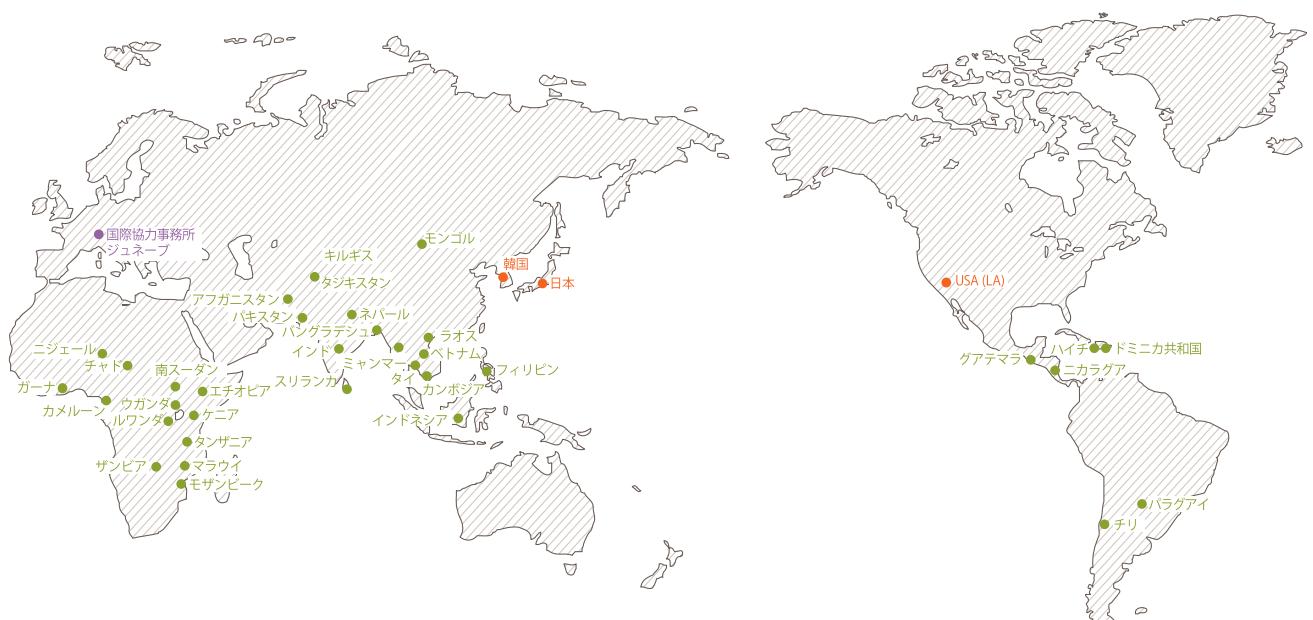
今年も、2016年の活動をまとめた「年次報告書」を皆様にお届けいたします。グッドネーバーズは今後も支援者の皆様や国連、市民社会とのパートナーシップを基に、国内外問わず子どもの笑顔にあふれる社会を作ることに全力を注ぎます。今後とも、継続的なご关心・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

福井 玲  
グッドネーバーズ・ジャパン代表理事  
東京大学教授



# 活動地域

- 支援を受けている国
- 支援している国
- 国際協力事務所ジユネーブ



# 活動分野



## 2016年の成果



# 教育



## Education and Protection

© Good Neighbors

### 2016年の成果



教育の機会を広げる



学校や設備への支援

**583,634 人**

就学前教育	35,759	職業訓練校	9,021
小学校	307,496	生涯教育	23,564
中学校	150,540	ホープスクール	46,415
高校	10,835		



奨学金、学用品支援

**281,616 人**

学費・奨学金支援	27,759
学用品支援	253,857



教育の質向上

教職関係者研修や教育プログラムの支援

**13,772 人**

教師・学習サポートスタッフ	9,149
教員研修	4,623



教育の権利促進

教育の権利向上キャンペーン

**244,691 人**

子どもの権利クラブ支援

**13,736 人**

# ホープスクール Hope School Project

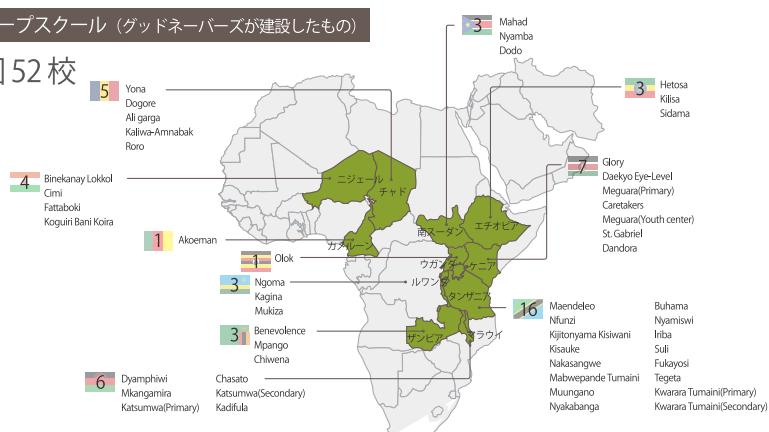
アフリカ 11 国に  
広がる「希望」

ホープスクールは、アフリカの子ども達により良い教育の機会を提供することを目的としたプロジェクトです。2009 年にグッドネーバーズの広報大使に就任した故パク・ヨンハさんがチャド共和国での学校建設を呼びかけ、2010 年に最初のホープスクールである「ヨナスクール」が開校。そこからホープスクールはアフリカの他の国にも広がり、グッドネーバーズのほか 5 つの NGO が韓国のテレビ局 SBS と協力し、アフリカに学校を 100 校建設することを目指して進められました。

2017 年 3 月には、記念すべき 100 校目のホープスクールがタンザニアに開校し、46,419 人の子ども達が学校に通うことができるようになりました。また、43 校を対象に行った調査によると、5 年前と比べ進級率・卒業率が向上していることがわかっています。

現在のホープスクール（グッドネーバーズが建設したもの）

11カ国 52 校



100 校目のホープスクールはタンザニアのザンジバル島に開校した、クアララ・トゥ・マイニ中等学校です。中等学校の就学率が 28% (UNICEF, 2015) というタンザニアの課題を受け、初等教育を終えた子ども達が勉強を続けられるように、この学校を建設しました。共に建設されたメディア教育センターでは、SBS が放送機材や専門技術を提供し、青少年へのメディア技術教育や地域住民への多様な教育プログラムが行われます。この学校の開校でホープスクールプロジェクトは完了しましたが、学校の運営や子ども達への支援は継続されます。

## ケニア Kenya

教科書 87 冊、児童書 52 冊が届けられました

ケニアの首都ナイロビ近郊にあるゴミ処理場周辺にできた巨大なスラム街コロゴチョでは、住民の多くはゴミ山から売れる物を拾い、生計を立てています。しかし稼げるお金はほんのわずか。グッドネーバーズはコロゴチョに教育センターを設置し、学校に行けない子ども達を支援しています。



グッドネーバーズ・ジャパンは 2016 年、コロゴチョのジラニ教育センターで教科書などの学用品を配布しました。教科書は 3,4 人の子どもで一緒に使わなければならない貴重なものですが、子ども達は教育省が定めた最新のカリキュラムに則って勉強することができます。

また、本が少なくあまり使われていなかった図書室に本を購入し、1 年生から 8 年生までの子ども達が図書室に通うようになりました。

# 医療・保健 / 水・衛生



## Health and Sanitation

Chankhak Park

### 2016年の成果

#### 医療・保健



#### 水・衛生



# ニジェール Niger

地域の健康を守る  
モバイルクリニック



グッドネーバーズ・ニジェールは、医療施設や地方での人材の不足、未舗装の道路などによって医療サービスを受けられない人達の状況を改善するため、モバイルクリニック（移動診療）を実施しました。以前は、子どもたちや地域の人々は病院に行くことができず、栄養失調や様々な病気に苦しんでいましたが、モバイルクリニックで健康診断や治療を受けられるようになりました。

2016年には2,640人が治療を受けましたが、そのうち1,581人がマラリア、132人が下痢性疾患、95人が肺炎と診断されました。さらにこのモバイルクリニックによりハンダライ地域では、妊娠婦と生まれてくる子どもの死亡率が0%に減少しました。



## 病気になった時に治療が受けられる喜び

ある日、ノウホウ・ヤコバ君（9歳）は大けがをしてあごが大きく腫れあがってしまいました。両親は村の医者のもとへ駆けつけましたが、状態はどんどん悪くなっていき、頭と耳の後ろにまで腫れが広がりました。幸い、ヤコバ君はグッドネーバーズのモバイル・クリニック（移動診療施設）で治療を受けることができました。両親も本人も一時は不安な日々を過ごしましたが、今では傷が完治し、とても元気に過ごしています。

# カンボジア Cambodia

安全な水は  
毎日の贈り物



首都プノンペンから西に290kmほど離れたバタンバン州のコーチバンという地域では、人々はサンカー川の上でいわゆる水上生活をしています。この地域には2,442世帯、10,605人が暮らしています。コーチバンのようなカンボジアの農村部ではまだ上下水道が普及していません。水たまりや河川の浄水されてない水を飲むと病気になりやすく、免疫力の低い子どもは命を落すこともあります。

グッドネーバーズは昨年、この地域で164台の浄水器を配付しました。浄水器は主に貧困に苦しむ家庭へ配られ、一部は学校、病院、母子支援センターなど公共の場所にも設置されました。これにより1,572人が安全な飲料水を飲むことができるようになりました、小さな子どもをもつ母親からは「子どもにはきれいな水を飲ませたいから、うれしい」という声も聞かれました。また安全な水に対する知識と理解を深めるため、衛生教育も行っています。家族全員が正しい衛生知識をもち、健康でいられるよう今後もサポートを続けていきます。

## 安全な水の大切さを村の人に教えたい

衛生教育キャンペーンは、カンボジアの教育・青少年・スポーツ省と農村開発省の、飲料水と衛生ガイドラインに沿って実施しました。このキャンペーンで、飲み水だけではなく、トイレや手洗い、環境保全についても学んだクリュイくんは「将来、地域の人々の安全な水に対する理解を広め、行動を変えていきたいと思った。」と話してくれました。



# 収入向上支援

## Income Generation



### 2016年の成果



収入向上支援  
52,079 世帯



1,093 の協同組合



4 つの社会的企業

モンゴル



カンボジア



ネパール



ルワンダ



組合の運転資金

6,582,679 ドル



社会的企業の売上

1,123,080 ドル

# ケニア Kenya

組合で力を合わせ、  
自立への一歩を



グッドネーバーズ・ケニアは、農村地域にあるメガアラ CDP\* でメガアラ豆農家組合を、組合員 225 人とともに運営しています。2016 年には運営資金として 162,000 ドルを投資して貯蔵所を設置し、豆栽培のための肥料や種を購入しました。

このプロジェクトには、グッドネーバーズ・マラワイとエチオピアで成功した、栽培技術のノウハウが活かされています。組合の経営技術の向上、経営者のリーダシップにより、メガアラ豆農家組合は運営資金を 100% 収還しただけではなく、計 24,127 ドル（約 275 万円）、一人当たり 62 ドル（約 7,000 円）の利益を出すことができました。

\* CDP : (Community Development Project) グッドネーバーズが実施する地域開発プロジェクト

## 社会的企業

## Social Enterprise

ビジネスで  
より良い社会に

グッドネーバーズは、ソーシャルエンタープライズ（社会的企業）と呼ばれる社会課題の解決を目的としたビジネスを通じて、地域の人々の収入向上と自立を支援しています。この事業は 2010 年 8 月にモンゴルで始まり、今ではカンボジア、ネパール、ルワンダの計 4 力国で行われています。



モンゴル



エネルギー効率がよく、環境に優しいストーブを開発し提供しました。この事業は利用者の暮らしを良くするだけでなく、練炭精製などの雇用創出にもつながっています。



ネパール



ネパールの主要産出物であるハーブ栽培の技術指導をし、適正価格で購入することで農家の収入向上を支えています。また、ハーブから精油、お香、シャンプーや化粧品などを開発し販売することで収益を得ています。



カンボジア



電気のない地域に住む人々に、太陽光発電機を販売しています。照明のある生活が、夜間に子どもたちが勉強する時間を作っています。



ルワンダ



グッドネーバーズが運営する協同組合が栽培したコーヒー豆を、購入・精製し販売しています。また、豆の品質向上や収穫量を増やすために、組合メンバーに農業研修を行っています。

## ネパール

## Nepal

研修を経て  
立派な農家に

人口の約 7 割が農業に従事しているネパール。豊かな自然を擁しながらも地方は慢性的な食糧不足に苦しんでおり、農業技術の不足もその理由の一つです。グッドネーバーズは農業組合の設立・運営支援や、その土地に適した野菜の効率的な栽培法などの農業技術研修を提供しています。研修を受けることで、野菜の収穫が増え、市場で売つて収入を得ることで、貧困家庭やその子ども達が明るい未来を築けるようになります。



自分の収入で子どもが学校に通えるように

カイラリCDPで、2 年前から農業技術の研修を受けているビジャヤさん（43歳）は、農業や漁業で得た収入で 3 人の子ども達を学校に通わせることができます。今では畑でカリフラワー、キャベツ、唐辛子、きゅうりなどが収穫でき、他の農家と協力しながら、さらに技術を向上させようと積極的に取り組んでいます。また、自分の収入で子ども達を学校に行かせることは、親としての自信にもつながっています。

# アドボカシー

Advocacy



## ケニア Kenya

女性器切除撤廃の  
ロビー活動で法令改正

マサイ族の一部の間では、割礼を受けていない女性は卑しい存在とされ差別を受けることがあります。今でも通過儀礼として女性器切除が行われ、大量出血や感染症で命を落とす女の子が後を絶ちません。グッドネーバーズ・ケニアは、“KACCSNET”という、カジアド・カウンティ（ケニアの行政区画）で30を超えるNGOが加盟している女性器切除反対のロビー活動に参加しました。



グッドネーバーズはKASSCENTと連携し、ビシリ CDP\*において、女性器切除から女の子たちを守り、その危険性を訴える啓発活動を行いました。こうした運動を成功させるためには、女性器切除を禁止する法令が州で制定され、女の子たちが法的に守られることが不可欠です。カジアド・カウンティでは、この活動によって法令が改正されました。一度改正法令が制定されれば、他の州においても関心が高まります。この成功が、女性器切除から女の子たちを法的に守ることとなり、最終的には女性器切除の根絶に繋がることを期待します。

\* CDP : (Community Development Project) グッドネーバーズが実施する地域開発プロジェクト

### 2016年の成果



# 地域連携



Community  
Partnership

## カンボジア Cambodia

地域社会への参加が  
変化の鍵

グッドネーバーズ・カンボジアは、167 の地域開発委員会（CDC）を支援しています。CDC は、牛小屋の設置、肥料の購入、その他様々な活動において住民自らが運用を担い、地域社会の収入向上のために貢献してきました。さらに畜産業や野菜栽培などの多様なビジネスが持続的に行われるよう、地元の農協とも提携しています。



また、グッドネーバーズ・カンボジアは計 1,844 名が所属する子どもクラブや青少年グループを組織しています。これらのグループ活動を通じて、子どもたち自身が社会の課題に対する問題意識を持つようになり、地域社会全体を変えていくことができます。グループでは定期的にミーティングが開かれ、子どもの権利の啓発キャンペーンなどを実施しています。

## 2016年の成果



地域開発委員会  
リーダー

3,590 人

会議 1,461 セッション



地元団体 2,700 グループ



地元のボランティア 7,503 人



GN ボランティア 66 人

# 2016年の人道支援

- 自然災害
- 復興支援
- 難民支援



## ラテンアメリカ・カリブ海

ハイチ ハリケーン緊急支援  
パラグアイ 洪水緊急支援  
エクアドル 地震緊急支援

13,630人  
1,492人  
3,100人



## アフリカ

タンザニア 難民支援  
チャド 難民支援

93,102人  
6,351人



## アジア

ネパール ヌワコット地区復興プロジェクト  
ネパール ゴルカ地区復興プロジェクト

48,396人  
19,913人

ベトナム 干ばつ緊急支援  
ラオス 洪水緊急支援  
カンボジア 干ばつ緊急支援  
スリランカ 洪水・土砂災害緊急支援  
熊本 地震緊急支援  
フィリピン 台風緊急支援  
インドネシア 洪水緊急支援  
ミャンマー 火事・洪水緊急支援  
タジキスタン 土砂災害緊急支援

17,104人  
6,551人  
13,417人  
2,500人  
3,155人  
32,000人  
10,630人  
7,970人  
1,108人

# Humanitarian Assistance

## 2016年の成果



### 自然災害

112,657人



### 復興支援

68,309人



### 難民支援

99,453人

# グッドネーバーズ・ジャパンの緊急支援

## 熊本地震

被災者とボランティアの架け橋として



## Earthquake in Kumamoto

2016年4月の熊本地震を受け、4月24日より10月まで、熊本県南阿蘇村でのボランティアセンター運営サポートを中心に地震の緊急・復興支援を行いました。

発災直後、南阿蘇村の災害ボランティアセンターでは、センターを運営する社会福祉協議会の職員自身も被災者であるうえに、通常の業務も行わなければならないため深刻な人手不足に陥っていました。

そこでグッドネーバーズ・ジャパンのスタッフ2名は現場に常駐し、ボランティアと被災された方のニーズをマッチングする、コーディネーション業務を担いました。被災施設や被災者からのボランティア要請は、支援物資の仕分け、炊き出し、介護施設への派遣、そして住宅の片付けなど多岐にわたり、4月～10月にセンターで受けたニーズ約1,500件に対し、マッチングしたボランティアはのべ8,400名にのぼりました。

### 「おいしかった」お礼のお手紙も



6月下旬、益城町など熊本県の4カ所の避難所で、ホットク（日本の「おやき」のような韓国のスナック）1,150食を提供しました。避難生活を送っている方々にいつもと違った食事をお楽しみいただきました。

### 少しでも暖かく過ごせるように



10月、一般の住宅に比べ気密性の低い仮設住宅で暮らす約400世帯を対象に、電気毛布420枚を配布しました。受け取られた方からは「寒くなったけん、どうしようか悩んどったところよ」など、喜びの声が聞かれました。

## ハイチハリケーン

## Hurricane in Haiti

ハリケーンから二ヶ月、初めての支援



2016年10月4日、大型ハリケーン「マシュー」がカリブ海のハイチを直撃し、死者は800人を超えるました。ハリケーン直撃から1ヶ月近くが経過してもまだ、140万人が人道支援を必要としている状態(UNOCHA)だったため、グッドネーバーズ・ジャパンはスタッフを2名ハイチへ派遣し、1,510世帯に食料や日用品を配布しました。

被害の最も大きかったグランダンス県のジェレミー郡のいくつかの地域では、周りに支援が届く中、一切支援が入ってこない状況が2ヶ月も続いていました。グッドネーバーズ・ジャパンは首都で支援物資を調達し、道路や治安状況が悪い中、二日間かけてそのような被災地へ届けました。配布後のモニタリングでは配付した食材などが早速使われており、被災者の方の安心した様子が見られました。

## エクアドル地震

## Earthquake in Ecuador

配付資材で  
雨風をしのげるよう



2016年4月16日、南米エクアドルでマグニチュード7.8の地震が発生し、5月の時点では死者660人、行方不明者23人、全壊家屋7,000棟の被害が報告され、避難生活を送る人は22,754人にのぼりました。

北部のペデルナレスでは家屋の6割が全半壊、州都のポルトビエホでは35%が全半壊など、家屋の被害が目立ち、家屋修理の資材を望む声が多く聞かれたため、グッドネーバーズ・ジャパンとしてマナビ県の214世帯(約1280人)にセメントやトタン板などの資材を配布しました。

# 一年のあゆみ

2016

1月



## ネパール地震の被災地にトイレを設置

2015年4月のネパール地震発生以来、ゴルカ郡において公共水道修理事業を行っていましたが、住民からの要望で仮設トイレの設置も行いました。

2016

2月



## 『第三回 親子でチャレンジ！国際協力ちびっこおえかきコンテスト』表彰式

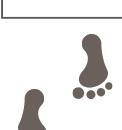


未来を担う子ども達が世界にふれるきっかけを提供する「ちびっこおえかきコンテスト」(ペニッセこども基金と共催)。第三回目のコンテストには、家族のために働いていたザンビアのマストトウくんを応援するため、1,715作品が集まりました。2月の表彰式には160名以上にご来場いただき、明るくほのぼのとした式典となりました。

また、累計参加人数は5,143人にのぼりました。

2016

3月



## 『ボランティア川柳』

3月から4月に募集したボランティア川柳には、249名の方から523句の力作が集まりました。ボランティアをする側、される側など、様々な視点からの句が集まり多くの発見がありました。

## STAND US キャンペーン

グッドネーバーズ・インターナショナルの寄付サイト『STAND US』で、ヨナスクールに関連したキャンペーン『ヨナと一緒にチャド奨学事業』を実施。目標金額の600万ウォン(約57万円)を達成し、チャドに届けました。

2016

4月



## 熊本とエクアドルへ

4月熊本と南米エクアドルで大規模な地震が発生。被害の大きさを受け、緊急支援チームを派遣しました。(詳細はP13)



## 『世界一大きな授業』に参加

教育協力NGOネットワークが実施する、世界の教育の現状を学び、教育の大切さについて考える「世界一大きな授業」には、56,234人が参加しました。日本では毎年4月から5月にかけて実施され、グッドネーバーズ・ジャパンも運営委員として携わりました。

2016

5月



## 希望の手紙コンテスト



5月～7月、グットネーバーズ・ジャパンが主催した『希望の手紙コンテスト』に小学生158人が参加しました。

子ども達は、カーペットを織る仕事をしながらも、「先生になりたい」という夢を持つネパールのスニタちゃんに宛てて手紙を書きました。大賞を受賞した小学3年生の男の子の手紙には、スニタちゃんを思いやる気持ちがよく書かれていたのはもちろん、自分の生活と比較し、相手を気遣う内容が込められていました。



# Steps in 2016

## リサイフクー周年

2016

7月



古着を寄付・リサイクルして世界の子ども達を支援する、『リサイフク』は、7月で1周年を迎えました。この1年で大変多くの方にご参加いただき、企業や学校の活動として利用される方も増えました。

2015年7月～2016年6月の実績

参加者数（のべ） 5,597人

寄付額合計 375,867円



2016

8月



参加企業の声（アドビシステムズ株式会社様）

「アドビジャパンでは社内チームによる社会貢献活動を日々行っています。今回も、社内から古着回収を行うことで社会に貢献しようという声が上がったことから始まりました。グッドネーバーズは初めて連絡を取った時からずっとわかりやすい説明で丁寧に対応してくれました。社内での古着回収プロジェクトは、衣類の募集や梱包作業など、通常業務ではありませんが、各部署の社員たちが集まって楽しながら作業を行いました。私たちのこのような活動が、世界の子どもたちの支援に役立てていただけることを嬉しく思っています。」



## お宝エイド開始

物品寄付型ファンドレイジングを展開する「お買取屋さん目黒山手通り店」の『お宝エイド』に、グッドネーバーズ・ジャパンも寄付先として加わりました。不要になった貴金属・ブランド品・携帯電話・スマートフォン・金券・切手・古銭古紙幣・古美術・骨董品など、お家に眠るお宝を「お買取屋さん目黒山手通り店」が買い取り、その買い取り額に、同社が「お宝エイド協力金」として、10%上乗せした額が寄付になります。開始後、早速何人かの支援者さまが「お宝」を送ってくださいました。

2016

9月



2016

10月



## ルワンダのコーヒーを限定販売



国内最大級の国際協力イベント「グローバルフェスタ JAPAN2016」に参加し、グッドネーバーズ・ルワンダから直輸入した『Neighbors Coffee』を販売しました。この生豆を生産する、ソーシャルエンタープライズ（社会的企業）Café de Gisagaraは、ルワンダのコーヒー農家が早期に現金収入を得、栽培技術を向上させることができます。仕組みづくりをしています。

2016

11月



## 『第四回 親子でチャレンジ！国際協力 ちびっこおえかきコンテスト』

第四回の主人公サディップくんは、ネパールに住む8歳の男の子です。2015年の大地震で家が壊れ、仮の住まいでの祖父母と暮らしていました。家族を手伝うため、毎日薪を拾いに行きますが、「また友達と学校に行きたい」と願っていました。サディップくんの暮らしをDVDで観た子ども達は、サディップくんを応援しようと様々な思いを込めて絵を描き、全国から届いた作品は1,217点に上りました。

### 参加園・保護者様のコメント

- ・親でも世界の子ども達について知る機会があまりないので、考えるきっかけになりました。今ある幸せを大切に、もっと世界に目を向けなくてはと思いました。（保護者様）
- ・広い世界に目を向けること、耳を傾けること、の第一歩になっています。このような活動に少しでも参加できるよう私達も目と耳を向けていきたいと思います。（園の先生）



最優秀賞  
いいむらとうやくんの作品

2016

12月



サディップくんは現在グッドネーバーズの支援を受けて学校に通っています。地震で壊れた家も支援を受けて建て直すことができました。

家族は収入向上のプログラムを受けて野菜栽培を始め、将来のために貯金をしたいと前向きに話しています。

# 国際機関との連携

グッドネーバーズは2012年よりUNDP(国連開発計画)、WFP(国連食糧計画)、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)、IOM(国際移住機関)といった様々な国際機関と連携し、事業を行ってきました。



## 飢餓ゼロコミュニティプロジェクト ネパール、ルワンダ、バングラデシュ、タンザニア

グッドネーバーズは2012年より、WFP(世界食糧計画)と韓国政府との多国間協力による飢餓対策プロジェクトの実施パートナーです。このプロジェクトでは、食糧管理のエキスパートであるWFPと、都市開発を行ってきた韓国政府が双方の得意分野を活かし、これまで4カ国（ネパール、ルワンダ、バングラデシュ、タンザニア）で69,848人を対象に飢餓対策のプロジェクトを実施しました。2016年にはネパールとルワンダでプロジェクトの第1フェーズが成功をおさめ、第2フェーズへプロジェクトを拡大することが合意されました。



## 地域社会のレジリエンス<sup>\*</sup>向上と気候変動対策 カンボジア

\*レジリエンス…元々は心理学用語でストレスに対して回復力や防御力があることを示しますが、ここでは地域社会が発展するための経済活動の活性化を促すものとして使われています。

グッドネーバーズは、WFPと連携し、カンボジアのバンティメンチェイ州オーチュラヴにて水と衛生および収入向上プロジェクトを実施しました。これは地域内での安全な水へのアクセスと、農産物の生産性向上および市場参入機会の増加を目的としたものです。

プロジェクトでは村の貯水池や魚の養殖場、トイレを建設し、地域住民の管理委員会を作り運営しています。これらの施設は近年の気候変動にも対応できるよう設計されています。その他、衛生・健康教育、養殖業を含む漁業専門技術研修、野菜栽培研修などを行いました。

# Cooperation with International Organizations



## 難民支援プロジェクト

タンザニア・チャド

タンザニアで行われたグッドネーバーズの難民支援事業が認められ、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）と事業協定を結びました。これに基づき、昨年タンザニアとチャドの難民キャンプにて人道支援を実施しました。

タンザニアではニャルグス、ヌドゥタ、ムテンデリにある各難民キャンプにおいて、収入向上支援やタンザニアの地域住民と難民が共同運営する市場建設のほか、各難民キャンプで職業訓練を実施しました。また、チャドのガガ難民キャンプでは学校教室の改修工事を行いました。



## UNHRD（国連人道支援物資備蓄庫）と グッドネーバーズの技術協定

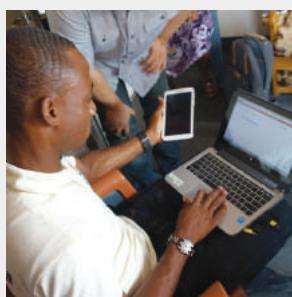
グッドネーバーズ・インターナショナルは、HRD（人道支援物資備蓄庫）による緊急時支援の提供をより迅速にするために、国連WFP(世界食糧機関)と技術協定を結びました。

この技術協定によって、緊急に人道支援物資が必要な事態が発生した際に、UNHRD（国連人道支援物資備蓄庫）のドバイにある施設から、24時間から48時間以内に救援物資を輸送し支援することが可能となります。迅速な対応が求められる人道危機に対し、このような取り組みが実施可能になることが期待されています。

## 個別資金援助

## Designated Fund

個別資金援助は、途上国の特定の支援ニーズを満たすために企業や個人などから使途を指定して行われる寄付の枠組みです。グッドネーバーズ・インターナショナルは、2016年に教育や保健衛生、収入向上や人権啓発の分野で52のプロジェクトを行いました。



### モバイルヘルスプロジェクト

政府、NGO、企業による医療支援の新しいアプローチ  
-総額2,162,2648ドル（約24億5,000万円）（2016年8月～2018年7月）

2016年8月より、グッドネーバーズ・ガーナは韓国のサムスン電子、KOICA（韓国国際協力団）、USAID（アメリカ合衆国国際開発庁）と共に、ガーナ国内の医療情報体系を強化するモバイルヘルス(mHealth) プロジェクトを行っています。この2年間のプロジェクトは最新のICT技術で医療情報管理の向上を図り、ガーナ国内で、特に妊娠や出産時の母親の健康管理に貢献することが期待されています。

# 会計報告

グッドネーバーズ・ジャパン

2016年度収支計算書（2016年1月1日～12月31日）

収入の部

I 経常収入の部			(単位：円)
寄付金収入		31,384,660	
助成金等収入		63,580,683	
助成金収入	42,440,384		
グッドネーバーズ本部補助金収入	21,140,299		
事業収入		573,068	
その他収入		2,606	
経常収入合計	95,541,017		

II その他資金収入の部

計上外収益（為替差益・雑収入）		1200	
前期繰越金		37,229,803	
収入合計	132,772,020		

支出の部

III 経常支出の部		
1 事業費		
(1)開発途上国等の子ども達並びにその家族および地域社会のための地域開発支援事業	17,640,655	
(2)開発途上国等における、大規模自然災害または紛争等の発生時における緊急人道支援および復興支援	45,162,359	
(3)地域開発支援事業への支援者と、開発途上国の人々が達ならびにその家族および地域社会との間の相互理解の促進	7,932,945	
(4)国際協力に対する日本の人々の理解を深める啓発事業	9,488,150	
(5)国際協力に参加する機会を広く日本の人々に提供する普及活動	6,000,449	
寄附された物品を含む物品の販売事業	286,629	
ホームページ・会報等への広告掲載事業	31,848	
事業費合計	86,543,035	
2 管理費		
ホームページ・会報等への広告掲載事業	4,540,287	
事業費合計	91,083,322	
経常支出合計	91,083,322	

IV その他資金支出の部

法人税、住民税および事業税		70,399	
計上外費用（為替差損）		35,900	
次期繰越金		41,582,399	
支出合計	132,772,020		

当期収支差額

0

貸借対照表(2016年12月31日現在)

I 資産の部			(単位：円)
1 流動資産			
現金預金	27,775,838		
未収金	2,633,784		
商品	62,190		
貯蔵品	111,541		
仮払金	0		
緊急支援等事業特定資産	12,903,604		
流動資産合計	43,486,957		
2 固定資産			
敷金	803,500		
固定資産合計	803,500		
資産合計	44,290,457		

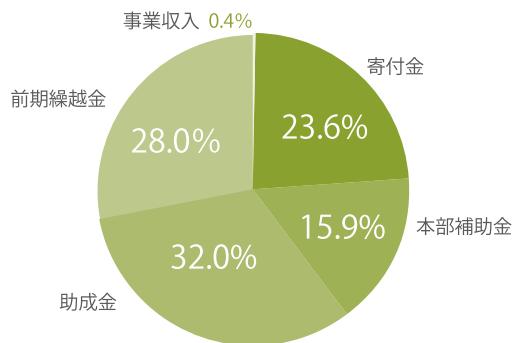
  

II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,294,206		
預り金	343,852		
未払法人税等	70,000		
流动負債合計	2,708,058		
2 固定負債			
固定負債合計	0		
負債合計	2,708,058		

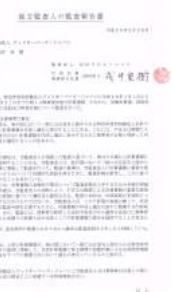
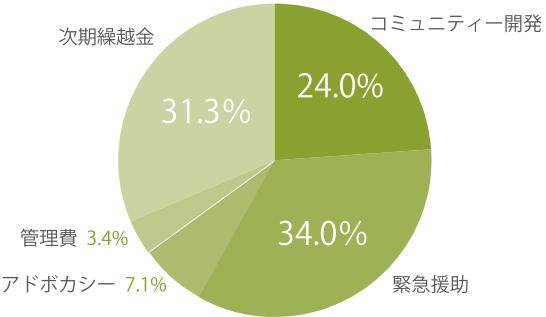
  

III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	37,229,803		
当期正味財産増減額	4,352,596		
正味財産合計	41,582,399		
負債及び正味財産合計	44,290,457		

2016年度収入合計 132,772,020円



2016年度支出合計 132,772,020円



監査報告書



Accountability  
Self-Check 2012

これは、JANIC の「アカウンタビリティセルフチェック 2012」マークです。JANIC のアカウンタビリティ基準の 4 分野（組織運営・事業実施・会計・情報公開）について当団体が適切に自己審査したことを示しています。

## 役員

代表理事： 福井 玲（東京大学教授）

副代表理事： 窪 誠（大阪産業大学教授）

常務理事： 小泉 智（グッドネーバーズ・ジャパン事務局長）

理事： 韓 福相（大阪産業大学教授）

李 健泳（新潟大学教授）

李 一夏（元グッドネーバーズ・インターナショナル会長）

監事： 小林 貴（株式会社奈良屋代表取締役）

法務顧問： 金子 憲康（弁護士）

財務顧問： あさひ会計事務所

労務顧問： 浅井 浩次（特定社会保険労務士）

# Financial Overview

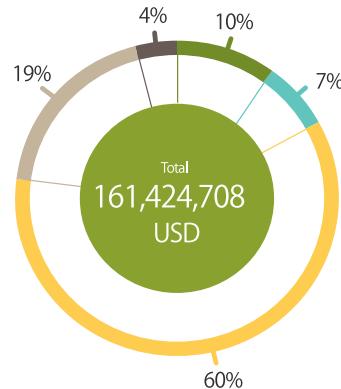
グッドネーバーズ・インターナショナル

## Income & Expenditure

Category		Total(USD)	%
Income	Contributions	15,342,331	10%
	Donations	15,342,331	10%
	Gift in Kind	11,583,814	7%
	Sponsorship	97,602,374	60%
	Grants	30,927,150	19%
	Other Revenues	5,969,039	4%
Total		161,424,708	100%
Expenditure	Program Expenses	International Humanitarian Development Project	83,419,264
		Child Rights Protection in Korea	58,693,230
	Administration and Fundraising Expenses		14,577,570
	Reserve Fund for 2017		4,734,644
	Total		161,424,708

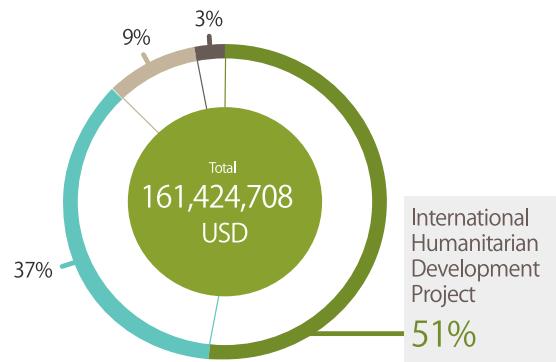
## Income Source

- Donations
- Gift in Kind
- Sponsorship
- Grants
- Other Revenues



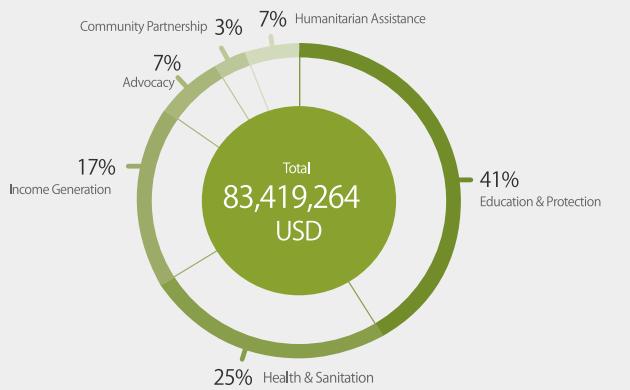
## Expenditure by Activity

- International Humanitarian Development Project
- Child Rights Protection in Korea
- Administration and Fundraising Expenses
- Reserve Fund for 2017



## Expenditure on International Humanitarian Development Project by Sector

- Education & Protection
- Health & Sanitation
- Income Generation
- Advocacy
- Community Partnership
- Humanitarian Assistance



## VISION

子どもの笑顔にあふれ、誰もが人間らしく生きられる社会

## MISSION

国内外のパートナーと共に、貧困及び差別の原因や  
災害・紛争による脅威を取り除く



認定NPO法人 グッドネーバーズ・ジャパン

〒143-0016 東京都大田区大森北2-14-2 大森クリエイトビル3階

TEL: 03-6423-1768 FAX: 03-6423-1766 E-mail: admin@gnjp.org

HP: [www.gnjp.org](http://www.gnjp.org) Twitter: @GNJapan Facebook: [facebook.com/gnjapan](https://facebook.com/gnjapan)